

# 洗濯洗剤の比較一覧表

分類	合成洗剤	合成洗剤	石けん	合成洗剤
品名	N社粉末洗剤	K社粉末洗剤	S社粉石けん	スピカココ
天然・石油の別	天然系	石油系	天然系	天然系
油脂の原料	植物	石油	動植物油	植物
油脂の原料名	ヤシ油	石油	豚油、ヤシ油	ヤシ油
使用量の目安	水30Lに対し20g	水30Lに対し20g	水30Lに対し35g	水30Lに対し20g
界面活性剤の含有量と成分	25.5% アルキル硫酸エステルナトリウム、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、純石けん分(脂肪酸ナトリウム)	36% 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、アルキル硫酸エステルナトリウム	99% 脂肪酸ナトリウム	13.5% 脂肪酸アルカノールアミド、アルキル硫酸エステルナトリウム
その他、助剤	水軟化剤(アルミノケイ酸塩)アルカリ剤(炭酸塩、けい酸塩)、酵素	水軟化剤(アルミノケイ酸塩)アルカリ剤(炭酸塩、けい酸塩)、分散剤、蛍光増白剤、酵素	なし	アルカリ剤(炭酸塩、けい酸塩)
界面活性剤の別	高級アルコール系	LAS(アルキルベンゼン系)	脂肪酸系	脂肪酸系
成分比較	アルミノケイ酸塩(ゼオライト)を使用している点が問題。脂肪酸系と違う、安全性に劣る	安全性、環境影響ともにワーストワンの界面活性剤。蛋白変性作用強い、生分解悪い。	界面活性剤含有量が99%で有機物そのもの。安全性は高いが有機汚濁負荷は最も高い。	界面活性剤含有量が13.5%で最も低い。有機汚濁負荷は最も低い。安全性も高い。
製造工程	スプレッドライヤー方法、ドライブレンド方法のどちらか。	複雑な化学合成を経る。スプレッドライヤー方法。	石けんのケン化法による。	オルコマチックシステム製法特許(新生産方式)
製造工程上の問題点	公害源(廃ガス、粉塵、汚染廃水)発生する。	公害源(廃ガス、粉塵、汚染廃水)発生する。	公害源(廃ガス、粉塵、汚染廃水)発生する。	公害源を一切発生しない。(乾燥用燃料の重油が不要。洗剤製造体系を一変させた。本装置は環境改善と保健衛生に大きく寄与。資源(重油の節約)にも寄与。
生分解性	○	×	○	◎
有機汚濁負荷	○	○	×	◎
魚毒性	△	×	◎	△
油脂消費	△	△	×	○
人体影響	○	×	◎	◎
洗淨力	○	◎	○	○
使い易さ	○	◎	×	○
節水	○	△	×	◎
経済性	○	○	×	○